

第 468 回教育研究審議会議事要録

日時 2026年4月21日(火)13:30~14:45
場所 本館 E-701 会議室
出席者 柳井学長、中武副学長、後藤副学長、内田副学長、寺田副学長、吉村事務局長、
篠崎外国語学部長、田村経済学部長、児玉文学部長、中村法学部長、井上国際環境工学部長、
西田地域創生学群長、田島大学院社会システム研究科長、松永大学院マネジメント研究科長、
深谷学生部長、狭間教務部長、神原基盤教育センター長、永末入試センター長、
浅羽情報総合センター長、中澤環境技術研究所長、ヘイルズ学長補佐

配布資料 1-1 欠員補充申請書(外国語学部)
1-2 欠員補充申請書(法学部)
1-3 欠員補充申請書(法学部)
1-4 欠員補充申請書(法学部)
1-5 欠員補充申請書(法学部)
2 特任教員の選考について
3 特任研究員の選考について
4 再任審査委員会の設置について
5 国立大学法人東京科学大学及び公立大学法人北九州市立大学の研究・産学連携・人材
育成に関する連携協定の締結について
6 2025年度 入試広報活動報告
7 2026年度 学長選考型研究費 採択者一覧表
8 2026年度特別研究推進費 採択一覧
9 人を対象とする研究に関する倫理審査委員会 審査状況報告
10 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第1号 教員の人事について

* 資料1-1のとおり、外国語学部からの申請に基づき、2027年3月31日付で退職する政所大輔准教授の後任として、国際機構論担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-2のとおり、法学部からの申請に基づき、2027年3月31日付で定年退職する重松博之教授の後任として、法哲学担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-3のとおり、法学部からの申請に基づき、2026年3月31日付で退職した山本健人准教授の後任として、憲法学担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-4のとおり、法学部からの申請に基づき、2026年3月31日付で退職した土井和重准教授の後任として、刑法学担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1-5のとおり、法学部からの申請に基づき、2026年3月31日付で退職した上條諒貴准教授の後任として、政治学担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第2号 特任教員の選考について

* 資料2のとおり、地域共生教育センターの特任教員1名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 特任研究員の選考について

* 資料3のとおり、国際環境工学部の特任研究員1名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第4号 再任審査委員会の設置について

* 資料4のとおり、再任審査委員会の設置について提案。

- 2027年3月31日付で任期満了となる任期制教員のうち、再任申請のあった国際環境工学部の1名の審査を行うため、再任審査委員会を設置するもの。
- 新学部に着籍がある教員の再任審査をする場合、新学部の教員で再任審査委員会が構成されるのか。
- 新学部において、再任審査をするかはまだ決まっていないため、今後、人事全般の規定について、見直しを行う際、検討する。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第5号 国立大学法人東京科学大学との連携協定の締結について

* 資料5のとおり、国立大学法人東京科学大学との連携協定の締結について提案。

- 多様な連携を通じて、新たな科学技術領域の創出、研究力の向上、産学連携の強化及び先導的な人材育成を推進し、地域社会の発展に貢献することを目的として、東京科学大学と研究・産学連携・人材育成に関する連携協定を締結するもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

報告

- ① 2025年度入試広報活動報告について
- ② 学長選考型研究費の選考結果について
- ③ 特別研究推進費の選考結果について
- ④ 人を対象とする研究に関する倫理審査委員会審査状況について
- ⑤ 教員の海外出張について